

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	上野 雄史 (静岡県立大学)
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>会計とリスクマネジメントとの相互作用、関係の研究を行っている研究者として、日本リスク学会に貢献していくつもりです。会計とリスクマネジメントの関連分野は重要なテーマでありながら、同学会での取り上げられる機会はそれほど多くありません。歴史的にみても、会計は経済発展のあらゆる場面で関わりがあります。会計は貨幣測定や情報開示という点で、利害関係者間を結ぶハブ機能を持っています。私もその学問分野の特性を活かし、学会におけるハブ的な機能を果たしていくつもりです。</p> <p>研究領域としては、AI・サステナビリティ領域で貢献していくつもりです。現在、AI が会計士業に与える影響についても研究しており、AI がもたらすリスクと機会について分析を進めています。また、サステナビリティ関連についても、最近のヨーロッパの規制への対応で企業がどのようなリスクが発生するのかについて分析を進めているところです。</p>
③ 本学会における 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本リスク学会理事・第 16 期・第 17 期・第 18 期 (財務担当) ・リスク教育部会・リスクコミュニケーション部会 (第 1 期～第 2 期) ・第 30 回日本リスク研究学会大会実行委員 (2017 年度) ・第 30 回日本リスク研究学会・大会優秀発表賞 (2017 年度) ・リスク学会会員向けのウェブ勉強会「大阪万博に関連するリスクの把握・評価・管理に向けて」(2020 年 3 月 28 日の共催)
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	<p>静岡県立大学教授/株式会社エコノミクスデザイン・シニアエコノミスト/理化学研究所 AIP センター客員研究員)。博士 (商学、2007 年、関西学院大学)。年金、保険、リスク、倫理の視点から会計研究を行う。本学会で学会賞の他に、2011 年、日本年金学会創立 30 周年記念賞佳作、2012 年、生命保険文化センター優秀論文賞を授与。</p>

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	上野 雄史氏
② 推薦者の 姓名と所属	岸本 充生 (大阪大学)
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>上野氏の専門分野である会計学のまわりではリスクという言葉が使われる場面が多くなってきており、また近年、CSR、サステナビリティ、ESG 投資といった企業活動に欠かせない重要な概念は、財務会計にも、リスクマネジメントにも関連が非常に強いものです。しかし日本リスク学会ではこれまで、会計分野とリスクマネジメントの関わりについてはそれほど取り上げてこなかった印象があります。上野氏は 2014 年からリスク教育、及び、リスクコミュニ</p>

ケーションタスクグループのメンバーとして活動され、また、静岡県立大学において「高校生のためのリスク学入門」を主宰し、2018年からは本学会の理事（財務担当）として活動されています。上野氏には、ますます重要になってくる専門分野に関連する知見をリスク学会の活動の中でさらに生かして活躍してほしいという期待を込めて強く推薦します。